

保育園の実践事例

園・校種	保育園
対象学年	0歳～5歳児(全園児)

単元名 題材名 (教科等) テーマ	防犯教室
-------------------------	------

《ねらい・目的》

不審者に対する防御の仕方、避難経路並びに約束ごとの確認をする。

●事前準備

保育士の話聞き、不審者に対する知識を習得させる。

《展開例(指導・研修の流れ、時間配分等)》

時間	指導(研修)内容	留意点/ポイント
10分	○不審者に対する、先生の話聞く (2歳教室にて、全園児対象に話をする)	・おかしを買ってあげる等知らない人に声をかけられても、絶対についていかない。 ・お友だちと一緒に遊んでいる時も、車でお家まで送ってあげると言われても、知らない車には乗らない。
10分	○不審者が教室に乱入 サングラスをかけ、マスクをした不審者が包丁を持って保育室に侵入する。	・教室においているパイプイスを盾にして、不審者を保育士が追い出している間に、もう一方の出口から園児を避難させる。 (第1避難所に避難) ・主任保育士が警察に電話(携帯電話使用)する。
10分	○不審者に対する6つのお約束を確認する。 いか・・・知らない人について行かない。 の・・・知らない人の車には乗らない。 お・・・ 大声を出して 助けを呼ぶ。 す・・・ すぐに 逃げる。 し・・・何かあったら すぐに知らせる 。 外へ遊びに行くときはお家の人に必ず伝える。	・6つの約束を園児に復唱させ、覚えさせる。 ・先生の言うことをよく聞いて、お友だちと一緒に逃げる。 ・各保育室に戻り、年齢に応じた話し合いをして、再度6つの約束を確認する。

【メモ】(実施したあとで成果・課題等を記入し、次の実践に生かしましょう。)

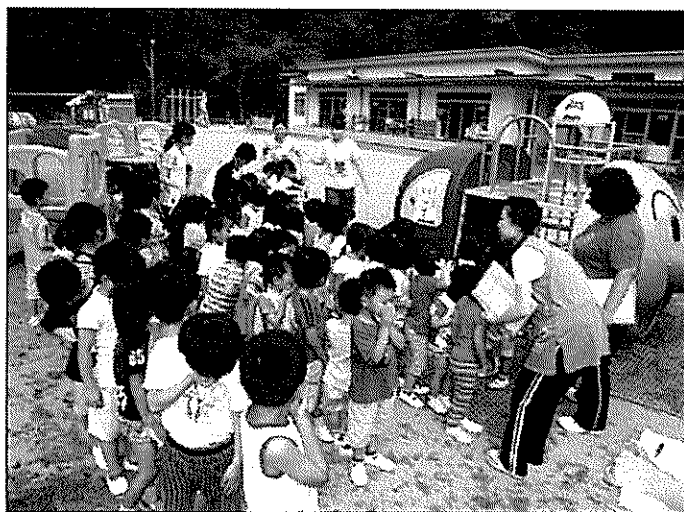
《指導・活動・研修に使ったワークシートや具体物等の教材、資料、写真》



保育士の話聞く



不審者が侵入



第1避難所へ避難・点呼

保育園の実践事例

園・校種	保育園
対象学年	3歳児

単元名 題材名 (教科等) テーマ	防犯教室
-------------------------	------

《ねらい・目的》

年齢が小さいながらも、不審者など防犯に関する知識を少しでも得ることで自分を守る事を知る。

●事前準備

紙芝居等で防犯に関するお話を聞く

●連携関係機関

篠山防犯協会(事務局:篠山警察署内 TEL079-554-2890)

いのへい劇団(連絡先:篠山少年補導員連絡協議会事務局 篠山警察署内 TEL079-554-2890)

●講師・ゲストティーチャー

篠山市防犯協会 いのへい劇団

《展開例(指導・研修の流れ、時間配分等)》

時間	指導(研修)内容	留意点/ポイント
40分	<p>○いのへい劇団による劇</p> <p>★防犯劇上演</p> <p>★いのへいくんの6つのやくそく</p> <p>い ①知らない人についていかない か ②知らない人の車にはのらない の ③あぶないときはおおごえを出したりぼうはんブザーをならす お ④すぐにげる す ⑤なにかあったらすぐしらせる し ⑥そとへあそぶにいくときはおうちのひとにつたえてからでる</p>	<p>・着ぐるみなどが出てくる劇をしっかりと見て感じとる。</p>
	○まとめ	<p>・お話を聞きながら一緒に言ってみる。</p> <p>・各クラスで印象に残ったことなど話し合いをし、記憶に留めておく。</p>

【メモ】(実施したあとで成果・課題等を記入し、次の実践に生かしましょう。)

幼稚園の実践事例

園・校種	幼稚園
対象学年	5歳児

単元名 題材名 (教科等) テーマ	防犯教育; 誘拐の場面での対応の仕方を知る
-------------------------	-----------------------

《ねらい・目的》

知らない人に声をかけられたり、連れ去られそうになったりした時の対応について話し合い、意識づけをする。

●参考文献

防犯紙芝居「いかのおすし」(教育画劇)

《展開例(指導・研修の流れ、時間配分等)》

時間	指導(研修)内容	留意点/ポイント
5分	○誘拐について、知っていることを話し合う。 ・知らない人に声をかけられたらどうするか？	・紙芝居を見る前に、園児達が知っていることについて話し合うことで、次の活動への意識づけをするようにする。
10分	○紙芝居を見る。 <写真1> ・『いかのおすし』 <写真2>	・読む声に抑揚をつけ、紙芝居に集中できるようにする。 ・しっかりと押さえない箇所はゆっくりと繰り返し読み聞かせるようにする。
5分	○紙芝居について話し合う。 ・“いかのおすし”の再確認をする。	・誘拐の場面での対応として、“いかのおすし”をしっかりと意識づけるようにする。
5分	○誘拐されないためにはどんなことに気をつけたらいいか？について話し合う。	・誘拐の場面での対応を知らせると共に、そのような場面に出会わないようにするための注意点もしっかりと知らせるようにする。

《指導・活動・研修に使ったワークシートや具体物等の教材、資料、写真》



紙芝居の読み聞かせ
<写真1>



教材用紙芝居『いかのおすし』
<写真2>

小学校の実践事例

園・校種	小学校
対象学年	3年生

単元名 題材名 (教科等) テーマ	見知らぬ人からの誘いの断り方(道徳)
-------------------------	--------------------

《ねらい・目的》

見知らぬ人への対応を考える

●事前準備

不審者関連の新聞記事

●参考文献

社会性を育てるスキル教育 小学3年生 (図書文化社)

《展開例(指導・研修の流れ、時間配分等)》

時間	指導(研修)内容	留意点/ポイント
5分	○知らない人からの声かけ事案を知る。	・身近に起きることを実感させる
10分	○ロールプレイ1をする。	・誘われた時にどうやって断ればよいか考えさせる。 ・よい対応をした児童をほめる。
10分	○「車に乗って教えて」のロールプレイ2をする。	・はっきりと断ることを教える。
10分	○ロールプレイ3をする。	・断る練習をする。
10分	○危険を未然に防ぐことを考える。	・「い・か・の・お・す・し」を確認する。

【メモ】(実施したあとで成果・課題等を記入し、次の実践に生かしましょう。)

小学校の実践事例

園・校種	小学校
対象学年	全学年

単元名 題材名 (教科等) テーマ	防犯教室
-------------------------	------

《ねらい・目的》

安全意識を高め、自分の身は、自分で守ることを心がけるようにする。

●事前準備

いのへい劇団 篠山警察署 駐在所へ依頼文

●連携関係機関

いのへい劇団(連絡先:篠山少年補導員連絡協議会事務局 篠山警察署内 TEL079-554-2890)

篠山警察署 駐在所

●講師・ゲストティーチャー

いのへい劇団 篠山警察署長 駐在所員

《展開例(指導・研修の流れ、時間配分等)》

時間	指導(研修)内容	留意点/ポイント
15分	○劇を見る。 ・誘拐から身を守る方法の寸劇 ・「いかのおすし」と出かける時の注意	・劇の準備のため控え室の準備 ・準備物として長机1
10分	○駐在所の警察官から話を聞く。 ・道路の横断 ・自転車に乗るときの注意 ・信号機の見方など ○篠山警察署長さんの話	・安全に生活をするために、防犯面と交通面から話をさせていただく。
事後	○防犯教室後、教室で感想用紙に感想を書く。	集約は、担当がする。 後日、感想用紙を劇団へ届ける。



小学校の実践事例

園・校種	小学校
対象学年	全学年

単元名 題材名 (教科等) テーマ	長期休業日前の安全指導～不審者対応・自転車の乗り方～
-------------------------	----------------------------

《ねらい・目的》

児童が日常生活における安全な行動ができるように、安全意識を喚起したり、身を守る方法を学ばせる。

●事前準備

ランドセル・自転車・ヘルメット・安全たすき・不審者の服装等

《展開例(指導・研修の流れ、時間配分等)》

時間	指導(研修)内容	留意点/ポイント
8分	<p>1 不審者について</p> <p>(1) 知らない人に声をかけられたら</p> <p>① 知らない人(不審者役)が、児童役に話しかける。</p> <p>② 不審者役が近づくと、離れながら返事する。 ・近づきすぎない(2m, 1人分あける)</p> <p>③ 不審者役「どうして離れるの？」 児童役「知らない人に近づいたらダメと 言われているの」</p> <p>④ 指導者が説明</p> <p>(2) 知らない人に何かされそうになったら</p> <p>① 不審者役が児童役を腕をつかむ。</p> <p>② 児童役「ウォー(低く力強い声で)」を出す。</p> <p>③ 指導者が説明</p> <p>④ 低い声の発声練習を行う。</p>	<p>・分かりやすく、関心を持たせるためロールプレイをする。</p> <p>・近づいて話をするとう腕を捕まれる危険があることを理解させる。</p> <p>・実際に声出しを練習し、いざという時の声を体感させる。</p>
5分	<p>2 自転車の乗り方について</p> <p>自転車の約束</p> <p>① 帰ってすぐにヘルメット・安全たすきを着けずに自転車で出かけようとする児童。</p> <p>② 子どもたちに質問「何がいけないのか」</p> <p>③ 指導者が説明 ・自転車の事故 ・5つの約束(自転車安全利用五則)</p>	<p>・自転車安全利用五則を指導する。</p> <p>1 自転車は、車道が原則、歩道は例外</p> <p>2 車道は左側を通行</p> <p>3 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行</p> <p>4 安全ルールを守る ○ 二人乗り、並進の禁止 ○ 夜間はライトを点灯 ○ 交差点での信号遵守と一時停止</p> <p>5 子どもはヘルメットを着用</p>
2分	<p>3 まとめ</p> <p>○楽しい夏休みー危険もたくさんある。 交通事故、水の事故、不審者、熱中症</p> <p>○自分の身は自分で守る。</p> <p>○何かあった時には学校に連絡をする。</p>	<p>・学期末だけでなく、定期的に指導することが大切である。</p>

《成果と課題》

- ・安全(命)に関わることなので、真剣な態度や表情で聞き、反応していた。
- ・話だけの指導ではなく、視覚に訴えたり体験したりと指導方法を工夫したことで、子どもたちは集中して聞くことができた。
- ・機会教育として学期末に行うとともに、定期的に学級指導や全体指導を行うことが大切である。
- ・今回は2名で行ったが、話をする指導者と役割で演技する指導者の3名は必要である。

小学校の実践事例

園・校種	小学校
対象学年	全学年・教職員

単元名 題材名 (教科等) テーマ	不審者対応避難訓練
-------------------------	-----------

《ねらい・目的》

不審者が侵入した際の児童の安全確保のための避難訓練を実施するとともに、不審者への対応の仕方について研修する。

●事前準備

不審者対応マニュアル
篠山警察署との連絡調整

●参考文献

学校園安全管理マニュアル(平成23年2月 篠山市教育委員会)

●連携関係機関

篠山警察署・駐在所 篠山市消防署 警備会社

●講師・ゲストティーチャー

篠山警察署職員 篠山警察署駐在所員

《展開例(指導・研修の流れ、時間配分等)》

時間	指導(研修)内容	留意点/ポイント
事前	○不審者が校内に侵入したことを想定して訓練をする。	・不審者への対応や校内放送など役割を明確にする。
5分	○放送を聞いてい安全に避難場所に避難する。(児童)	・不審者が興奮しないような放送を心がける。 ・不審者に出合わないよう、静かに避難する。 ・中から施錠できる教室を避難場所とする。 ・児童の不安を和らげるよう配慮する。
10分	○さすまたなどを活用し不審者の動きを封じる訓練する。(教職員)	・組織的に対応する。 ・不審者が興奮しないよう、児童を静かに待たせる。
15分	○訓練のあと、訓練の様子について指導を受ける。(教職員)	・さすまたの使い方、対応のしかたなど具体的に指導していただく。 ・命を守ることを最優先にした対応をする。 ・感想や質問を出し合い、訓練のまとめをする。

【メモ】(実施したあとで成果・課題等を記入し、次の実践に生かしましょう。)

中学校の実践事例

園・校種	中学校
対象学年	2年生

単元名 題材名 テーマ	(教科等) 自分の安全を守るために(不審者対応)
-------------------	------------------------------------

《ねらい・目的》

- ・生徒自身が危険を知り、自分の安全を守るために行動できる力を養う。
- ・保護者や教職員と一緒に考え、地域の人たちの防犯活動を知り、自分や友達の安全を守る行動を知る。

●事前準備

不審者事案等の資料、ワークシート、チェックシート

●講師・ゲストティーチャー

なし

《展開例(指導の流れ、時間配分等)》

時間	指導内容	留意点/ポイント
5分	○最近の登下校中に危険を感じたり、不審に思ったことについて聞く。	・「不審な車が止まっていた」「サングラスや帽子で顔を隠している人を見た」等いろいろなことを発表させる。
5分	○最近の登下校時に起こった事件について話をする。	・不審者情報、連れ去られ事件等について資料をもとに話をする。
10分	○「こんなときどうしますか」シートを配り考えさせる。 ① 知らない人があなたに助けをもててきたとき ② 友達と遊びに行き遅くなったとき ③ 知らない人があなたに近づいてきたとき	・いろいろな場面を想定して考えさせる。
10分	○考えた意見をもとにして班で話し合いをし、その時の行動についてまとめ、発表する。	・どのような行動をとるのが良いかをいろいろな角度から考えさせる。
10分	○どんな行動をとるのが良いのか、チェックシートを配り確認する。	・①、②についてはチェックシートを使う。③については不審者対応を確認する。
10分	○家庭での約束事を家族とともに作るための話を聞く。	・外出時のルール ・登下校時の知り合いの家や子どもを守る家の確認 ・気をつけなければいけない場所 ・家族との連絡のとり方 ・地域の人々の活動について聞く

《指導・活動に使ったワークシートや具体物等の教材、資料、写真》

こんなときどうしますか???シート

シート1

あなたが一人で道をおいているとき、車から優しい知らない大人(男性)がすごく困った様子で話しかけてきました。
「あのう、すみません。」「こんにちは。おじさん、急におなかが痛くなって困っているんだ。病院に行きたいのだが、近くに病院はありませんか。」(苦しそうな表情で、さらに)
「近くの病院まで道を教えてください。お願いします」
「この辺は全くわからないので、車に乗って案内してくれるとうれしいのだが・・・」あなたはどうしますか。

シート2

友達と遊びに行き帰る予定の時刻より2時間遅くなりました。辺りは太陽が沈み、もう真っ暗です。あなたの家までは人通りの多い大通りを通れば10kmあります。しかし、人通りの少ない道を通れば2kmで家に着きます。家には車があり、あなたの家族があなたの帰りを今か今かと待っています。あなたはどのようにして家に帰りますか。

シート3

あなたは人通りの少ない道を歩いていました。前方には大きな男の人が立っていて、あなたの方を見えています。あなたがその男の人の横を通ったとき、右手をぎゅっとなつかれました。あなたはどんな行動をとりますか。

どんな行動を取るのがいいかみんなで考えてみよう。

望ましい行動をチェックしてみよう。また、保護者の意見も聞いてみよう。

シート1

1. やさしそうな人だし、困っているのだから、車に乗って案内してあげる。
2. ともかく車から離れ、「近くのおとなの人に知らせてあげますよ」といって近くの大人や交番などに知らせる。
3. 知らない人にはついて行かない。
4. 近くの交番やガソリンスタンドに聞いて下さいといっ、車の反対方向に立ち去る。
5. 無視して立ち去る。
6. 車には乗らないが、車に近寄って地図などを見ながら教えてあげる。

保護者の考えを聞いてみよう。

シート2

1. 1人でも早足なら大丈夫なので、暗い道でも近道する方が早く帰れるから一番よい。
2. 通学路や出かけるときの道など通常使う道は、安全な道順を保護者と相談して決めておく。
3. 出かけるときは「行き先」「帰宅時間」「一緒に行く人」を保護者に伝え、帰宅時間が遅れないようなら保護者に知らせる。
4. 友たちと2人連れなら安全だから、暗い道でも平気だし、近道をする。
5. 遠回りしても明るい道だから安心して帰る。危険はないから家への連絡はしない。

保護者の考えを聞いてみよう。

シート3

1. 不審者にであったときは近寄らない。
2. 不審者が前から来たら逃げるのは変だからそのまま向かっていく。
3. 手を捕まれたら大声を出して助けを呼ぶ。
4. 手を捕まれたらその場にしゃがみ込んで小さくなる。

手首を捕まれたときふりほどくためには・・・

- ① 相手の親指の方に力を振り払う(1本の親指の方が力が弱いから)
- ② 自分のもう一方の手を添えて(合掌取り)引っ張る。
- ③ 見知らぬ人と話すときは1.5m以上離れて話をする。

抱きつかれたとき逃げるために・・・

- ① 相手の足の甲を踏みつける。
- ② 相手の向こうずねをを蹴る。

特別支援学校の実践事例

園・校種	特別支援学校
対象学年	全学年(幼、小、中、高)

単元名 題材名 (教科等) テーマ	『守ろう！自分の安全』 (総合的な学習の時間)
-------------------------	-------------------------

《ねらい・目的》

交通ルールを守ることの大切さや、知らない人に声を掛けられても、ついて行かないことを理解させる。

●事前準備

①不審者対応のロールプレイ ②大型店(量販店)に出かけたときのロールプレイ

●参考文献

啓発ファイル『こいぬのあしあと』(兵庫県警察)

●連携関係機関

警察署

●講師・ゲストティーチャー

『まるっちーず(西田さん、井上さん)』

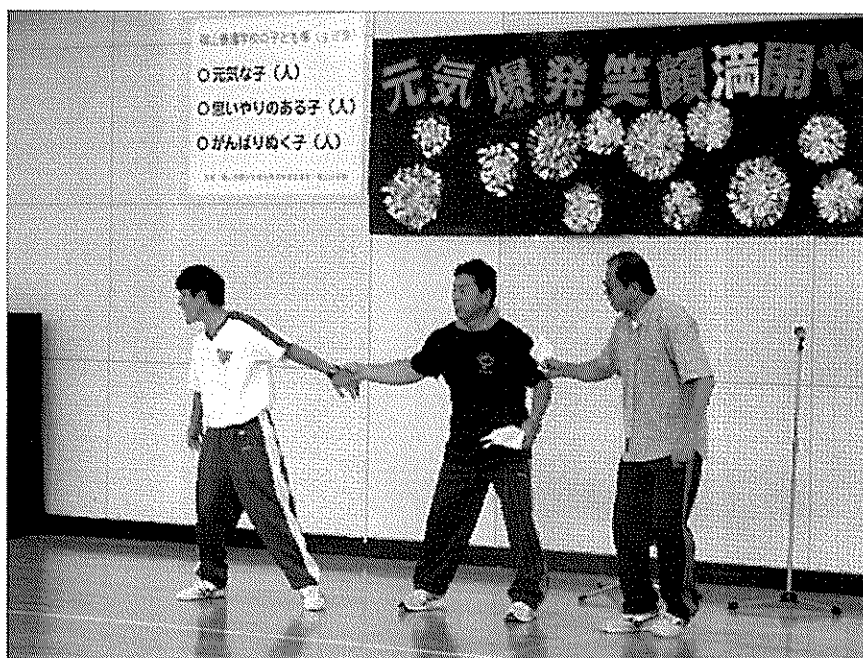
《展開例(指導の流れ、時間配分等)》

時間	指導内容	留意点/ポイント
5分	1 はじめのあいさつ	・一人一人の表情や声の大きさを確認しながら行う。
	2 学習内容の説明	・視覚支援として、時間の流れを模造紙に書いておく。
5分	3 校長の話	・図やカードなどで具体的に話してもらう。
20分	4 『まるっちーず』の漫才講話 ＜写真1＞	・啓発資料『こいぬのあしあと』を配布し、一つ一つの事柄について確認をしながら進めてもらう。
10分	5 ロールプレイ(教師と生徒による) ・不審者対応 ・大型店舗での対応 ＜写真2＞	・事前に練習した上で、ゆったりとロールプレイを行う。 ・場面を振り返りながら、子どもたちに考えさせる機会を作る。
5分	6 まとめ(ふりかえり)	・本時の感想を聞くなどして、しっかりと振り返りを行う。

《指導・活動に使ったワークシートや具体物等の教材、資料、写真》



<写真1>



<写真2>